



高い技術力を精緻なデザインと融合させ商品化 感染対策用ハンドサニタイズーステーション開発

藤精機 株式会社

藤精機株式会社（新藤淳代表取締役 / 中巨摩郡昭和町）は、ステンレス加工技術を活用した体温感知カメラと自動消毒液噴射機を一体化したハンドサニタイズーステーションを製作し、販売している。



ステンレス製の見た目もスタイリッシュなデザイン

同製品は、県内企業が自ら企画・開発し販売する新規性や独創性があり、優れた使用価値を有している商品として、「やまなしトリアル発注商品」にも認定された。

同社は昭和43年に創業し、金属等の精密加工を行う企業として小型部品から大型重量物まで小ロットの試作から量産製品まであらゆるニーズに対応できる加工技術を提供している。設計から精密加工・組立までのすべての金属加工を社内で完結できるという他社にはない強みを持っている。

同社は、精密な金属加工ができる技術を活かしてステンレス製の自社製品の開発を志向していたが、コロナ禍で体温測定器やアルコール噴霧器が不足していたことから、自社技術を社会に役立てる商品の開発を目指し、ハンドサニタイズーステーションの製品化に取り組んだ。同社の高い加工技術を活かし精緻なデザイン性と機能性を兼ね揃えるだけでなく、ステンレスを使用することで衛生面や頑丈さの向上を目指すことを重視した。サイドテーブルも付け、使用者のバッグ類の仮置きやエントランス備品を違和感なく設置できるようになっている。

新藤社長は「スタイリッシュなデザインにより、病院の入り口やホテルなどのラグジュアリーなエントランスにもマッチし、空間イメージもアップすると思います。消毒は接触感染リスクを減らすために有効とされていますが、収束後も新しい生活様式として定着していくと思います。これからも高いデザイン性を高い技術力で形にしなが、新しい生活様式に貢献できる取り組みを続けていきたい。コロナと一緒に乗り切っていきましょう！」としている



担当：神山